



財界言いなり政治 から 暮らし応援へ！

裏金によって歪められた政治に審判が下りました。

本来、生活費には課税せず、富の再配分機能を果たするのが税金。ところが、生活費に課税し、所得の低い人ほど負担が重い消費税が増税され、法人税の減税と累進課税緩和で高額所得者減税が繰り返され、格差と貧困を広げています。

消費税は廃止をめざし、まずは5%へ引き下げ、大企業・富裕層に応分の負担を求めるべきです。

Profile 3期目 まちづくり委員、総務消防委員長、産業交通水道委員会副委員長歴任／現在総務消防委員会副委員長。右京原水協代表、右京民主商工会相談役／「平和でこそ商売繁盛」が原点！

日本被団協のみなさん ノーベル平和賞受賞おめでとう！

被爆80年、被爆者の平均年齢が85歳を超えるなか、日本被団協がノーベル平和賞を受賞し歓喜が上がりました。

私は、19歳の夏、初めて原水爆禁止世界大会に参加し悲惨な被爆体験をお聞きして以来、「核兵器と人類は共存できない」「核兵器のない平和で公正な世界を」と毎年、可能な限り原水爆禁止世界大会に参加してきました。

被団協の代表は「先輩方が差別とか偏見、そして健康の不安を抱えながら語ってこられた、…それが核兵器禁止条約につながりました。そして今の国際情勢が『核戦争が起きるんじゃないか』というような情勢のなか、ノーベル委員会が被団協にノーベル平和賞を授与しないと大変なことになるんじゃないか」と述べられました。

「平和でこそ商売繁盛」が私の原点！今こそ核兵器禁止条約批准へ！



原水爆禁止2024年世界大会にて

公約違反の 市バス運賃値上げ撤回を！



市民の足を守る西京連絡会の値上げ中止アピール

昨年の6月1日から、京阪京都バスの運賃値上げに合わせて、西京区の市バス運賃が値上げされました。西京区民から「調整区間における市バス運賃値上げの撤回」を求める請願が出され、9月27日の産業交通水道委員会で審査されました。

「運賃は、先行事業者の決定に追随するもの」「運賃についての協議は独禁法に触れる」等と、交通局は市民の声を聞かないばかりか、同じ地域を運行する民間事業者との協議すら行わず、市バス運賃の値上げを市民不在で強行しました。

京都市バスの営業収益はV字回復し、2023年度は12億円の黒字です。公営企業の本来の目的は、「公共の福祉の増進」。黒字なのに運賃値上げは、市民理解を得られません。